

里山から庭先まで

麻生にヤマユリを再生させましょう

ヤマユリ通信 芽吹

麻生区協働推進事業 麻生ヤマユリ植栽普及会
発行責任者: 貞本 勉 企画・編集: 広報部会

H21. 6. 18 発行

vol. 1-1



◆もくじ◆

「麻生ヤマユリ植栽普及会」再スタート！

◆ユリ今昔◆ 日本固有種、ヤマユリの危機

眼差し 真剣！！発芽ヤマユリ種まき講習会

5・6月 植栽地便り！ヤマユリが里山で元気に基立ちする季節、蕾も膨らむ

ふるさとの希少種を守り育成する！！ 麻生ヤマユリ植栽普及会 再スタート！

かつて、初夏の頃ともなると柿生・麻生の里・多摩の丘に香しく咲き乱れるヤマユリは、地域の人々にとって見慣れた景色であったそうです。

百合が丘は、まさに、その呼称の通りヤマユリが咲き誇る里山でした。日々大小の宅地開発が進み、緑が失われていく中で、いつしか忘れ去られ、その姿がほとんど見られなくなっています。

こうした中で、6年前より「麻生まちづくり市民の会」のみなさんによるヤマユリ植栽普及活動によって、少しずつ再生の兆しが見えてきました。

この活動をより確かなものにするために、今年、21年度より麻生区協働推進事業の指定を受け、

「麻生ヤマユリ植栽普及会」として再スタートすることになりました。

現在、岡上梨子ノ木緑地、下麻生まつの木緑地、化粧面谷戸公園、おやしる公園、授産学園緑地などで、地域の緑地ボランティアのみなさんと協働活動を進めています。さらに新しい植栽地を見つけ球根の植え付けや種まきも取り組んでいく予定です。将来、ヤマユリが緑地に根付き自生するヤマユリとして生育してくれることを願っています。

ヤマユリの再生活動にご理解とご協力をお願いいたします。この活動にご関心のある方は、当会事務局へご連絡ください。

◆ユリ今昔◆ 日本固有種、ヤマユリの危機

ユリは、野や山で世界におよそ100種が自生しているといわれています。その中で15種が日本に自生し、そのうち8種が日本固有種です。ヤマユリは、その固有種のひとつです。そして、このヤマユリは、県花に指定されているほど神奈川ゆかりの花なのですが、いまや絶滅が危惧されています。

わが国のユリは、いずれもとても美しく、江戸末期から海外での万国博等で紹介され大評判になりました。その結果、明治から昭和の初期まで、欧米諸国に向けて横浜港からユリの球根が大量に輸出されていました。盛んな時は年間4,000万球にも達したとか。一時期は、養蚕と同じように一大輸出農産品となり、関東一円は、その産業圏に組み込まれていました。

しかし、欧米リードによる品種改良技術が急速に進み、日本特産のユリは席巻され、カサブランカ等のハイブリッド種が園芸店を独占するようになりました。いまや生産量の90%がオランダ産で、わが国はその三分の一（年間約2億球近く）を輸入しているほど。まさに今昔の観があります。



眼差し 真剣!!

発芽ヤマユリ種まき講習会

恒例の「ヤマユリ栽培講習会」を、4月27日（月）麻生区役所4階会議室をメイン会場として開催しました。

今回は、発芽した種による鉢植え講習会で、めずらしさも手伝って、公募枠30名に対し104名もの応募（3倍強）があり、会員一同、大いに勇気づけられました。その講習会的一端を紹介しましょう。

* 講習会プログラム *

- ①麻生ヤマユリ植栽普及会の活動概要
- ②<講義>ヤマユリの特徴と種まき鉢の仕立て方
- ③<実習>種まき鉢の仕立て実習
- ④<講義>種まき鉢の管理のポイント

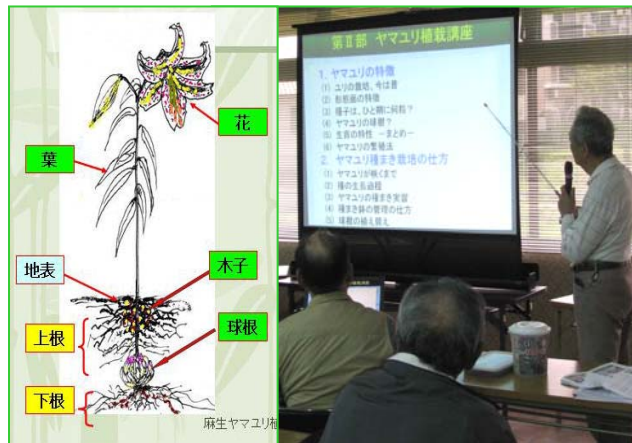
<基礎知識講座1> ヤマユリの特徴

本日の講習会プログラムに沿って、当麻生ヤマユリ植栽普及会の活動概要の紹介に続いて、まず「ヤマユリの特徴」について、里山フォーラムin麻生の世話人代表・平林謙三氏によるヤマユリの基礎知識のお話から始まりました。

日本におけるユリの自生種は15種類であること、かつてユリは、日本の輸出特産品であったが、今やカサブランカに代表されるようにオランダからの輸入国になってしまったことなど、興味深い江戸・明治に遡った歴史解説から始まる。

ユリは、他の球根植物と違って、球根の上(上根)にも下にも根(下根)があり、上根に付く木子(きご)でも種と同様に増殖が可能であることなど、ヤマユリの形態面の特徴解説が、スライド資料を使って分かりやすく解説された。

そして、何よりの特徴は、種子から開花するまで約5年の歳月を要することのお話に、一同、驚嘆の声。“咲くまで生きておれるの?”とのつぶやきに会場に笑いが満ちました。



▲ヤマユリの特徴・構造をやさしく語る平林氏

<基礎知識講座2> 種まき鉢の仕立て方の手順と留意点

つづいて、鉢植え実習に備えて「種まき鉢の仕立て方の手順と留意点」について、講師役の貞本会長が具体的に解説。鉢は、底に多くの穴のあるものを選ぶこと、肥料分の少ない水はけの良い土の選定と配合量の目安、さらに覆土は、種が隠れる程度で厚くならないように、などのポイントをスライドの図解で入りで・・・

● 種まきの手順 ●

- ①鉢底石を敷く。
- ②赤玉土と腐葉土の配合土を八分目まで入れる。
- ③発根した種子をまく。
- ④籾殻燐炭、川砂、ピートモスの配合覆土を掛ける。
- ⑤たっぷりかん水
(講習会テキストから抜粋)





▲ 発芽後2か月目(6月初旬)



▲ 種まき2年目(6月初旬)

＜実習＞ 種まき鉢の仕立て実習

実習は、区役所前広場に移り、6人グループ5班に分かれ、各班2人のサブリーダーの支援でスタート。

①まず、各人に配付されたプランター鉢を並べ、鉢底石を敷く“多すぎないように底が隠れる程度ですよ”と講師の声が響く。

②続いて、種まき床用土を入れ“赤玉土と腐葉土の配合土を八分目まで入れてください”との声を待たず、どんどん作業が進む。サブリーダーがその様子を窺きながら助言してまわる。

③次は、種まき(40～50粒)“種から髪の毛より細い根が出ていますね。根を傷めないように、根と根が重ならないように注意してまきましょう”の声が響く。

騒がしい会場が急に静かになり、皆、種まきに熱中。広場に座り込む参加者も数名…。

④“最後は、その種の上に覆土を薄く、サラサラとまくように…”と会場に講師の声…。全員作業完了！



▲用土配合の事前準備作業



▲②種まき床用土八分目まで



▲①プランターに鉢底石を敷く



▲③発根した種まき作業

2. ヤマユリ種まき栽培の仕方

(1)ヤマユリが咲くまで



▲ヤマユリは、通常、種子から開花するまでに5年、上図のような生長過程を取りながら生育(講義テキストから抜粋)

＜基礎知識3＞ 種まき鉢の管理のポイント

実習を終えると、再度、部屋に戻り、上手に育てる管理の仕方のコツの講義を聴く。

- ① まず、ジョロでやさしくたっぷり水をやる。
- ② 発芽するまで毎朝、水やりを忘れないこと。
- ③ 鉢は、半日陰の場所で、ナメクジ・害虫よけに敷石の上に置き、寒冷紗等のネットで覆うこと。
- ④ 発芽したら梅雨明け頃まで、ほぼ1週間ごとにベンレート(500倍液)オルトラン(1000倍液)を散布。
- ⑤ 2年目の秋11月には、植え替える(株分け)。

こうして定刻に講習会は終了。参加者のにこやかな笑顔が印象的でした。参加者からのアンケートからも“ヤマユリへの愛着が一層高まった”“咲くまで頑張らなければ”“楽しみが増えた”などの満足度がうかがえた講習会だと思います。支援者に感謝！



▲水やりの仕方と鉢の置き場所の諸注意(講義テキストから抜粋)

5・6月 植栽地便り！ ヤマユリが里山で元気に茎立ち する季節、蕾も膨らむ

私どもの植栽活動は、右図の麻生区の緑地公園にて、地域のボランティアのみなさんとの協働事業として行っています。

岡上地区は「かわさき自然と共生の会」、王禅寺地区は「木こりの会」、万福寺地区は「新百合山手公園管理運営協議会」などのみなさんです。

梨子ノ木緑地 での活動

杭打ち・ロープ張り とツル草取りで汗を流す

この緑地は、1.8ヘクタール。立木は、クニギ、コナラ、桜が中心で、5年前から「かわさき自然と共生の会」にみなさんによって間伐・植林整備が進められ、美しい緑地に再生しつつあります。ヤマユリ植栽活動は、2年半前からで、昨年7月に初めて20本近くの花が開花し、みんなで喜び合ったばかりです。もうすぐ7月、開花の時節を迎えますが、今年から本格的に自生地再生を目指して、この5月には、保全管理エリアを定める杭打ち・ロープ張り（150㍍）作業を行いました。秋の球根植栽時までに竹藪等の下草刈り作業を進める計画です。



▲麻生区内ヤマユリ植栽マップ

おやしろ公園 での活動

蕾も日々大きく生長、でもクズ のツルが曲者！

この緑地には、わずか12,3球の植栽でしたが、病害中の被害も少なく、見事に育ってくれています。この時節、荒れた緑地に分け入って、まず驚くのは、クズやカツラのツルが一面に覆い被さっていることです。会員一同、開花を楽しみに、このツル草取りに日々汗をかいています。



▲生育状況の視察・杭打ち・ロープ張り作業



▲アズマネササの中で負けず茎立ちするヤマユリ

会員 募集中

地域のボランティアのみなさんと一緒にヤマユリに親しみながら里山で汗を流してみませんか。

年会費：1200 円

定例会：原則、毎月第二火曜日午後

会 場：会議は交流館やまゆり

植栽活動は上記の各緑地

★問合せ・連絡先：当会会長（事務局）貞本 勉

TEL：090-7175-4995

E-mail：tsutomu.sadamoto@nifty.com

行事予定

7月～11月の主な予定

- 7月14日 麻生区内ヤマユリ植栽地散策会
- 24日 武蔵丘陵森林公園ヤマユリ視察研修
- 9月17日 折り紙ヤマユリブーケ手作り講習会
- 10月 区民まつり（参加予定）
- 11月 ヤマユリ鉢植え・植え替え講習会
ヤマユリ植栽活動（6か所）